

# 平成17年 夏季一時金 要求・妥結状況調査（最終集計）

福岡県労働政策課では、県内に事業所をおき労働組合のある企業293社（従業員数300人以上の大手146社、300人未満の中小147社）を対象として、毎年、夏季一時金の要求・妥結状況調査を実施している。

調査対象企業のうち、回答のあった212社について集計を行った結果は次のとおりである。（集計は、平成17年12月19日現在）

## 1 平均要求額

（1）平均要求額は、591,278円となっている。

（2）要求額が最も高いのは、情報通信業で1,280,833円、次いで鉄鋼業で799,505円、化学・石油業で759,616円の順となっている。

逆に、最も低いのは、飲食店、宿泊業で230,131円、次いで木材・家具業で362,805円、パルプ・紙業で366,628円の順となっている。

（3）規模別にみると、大手114社の平均要求額は629,450円となっている。一方、中小98社の平均要求額は547,142円となっている。

## 2 平均受結額

- (1) 平均受結額は、519,691円、2.01ヵ月分となっている。  
前年(平均受結額481,792円)と比べると、37,899円上回っており、増加率7.87%となっている。
- (2) 受結額が最も高いのは、情報通信業で1,239,843円、次いで教育、学習支援業で765,144円、化学・石油業で730,439円の順となっている。  
逆に、最も低いのは、飲食店、宿泊業で236,733円、次いで木材・家具業で296,843円、パルプ・紙業で308,037円の順となっている。
- (3) 対前年増加率が最も高いのは、鉄鋼業で27.07%、次いで一般機械器具業で24.57%、窯業・土石業21.74%の順となっている。  
逆に、最も低いのは、飲食店、宿泊業で13.08%、次いで運輸業で8.16%、木材・家具業で7.80%の順となっている。
- (4) 規模別にみると、大手114社の平均受結額は562,918円(2.08ヵ月分)で、前年(平均受結額517,126円)を45,792円上回っている。対前年増加率8.86%である。  
また、中小98社の平均受結額は469,405円(1.93ヵ月分)で、前年(平均受結額438,304円)を31,101円上回っている。対前年増加率7.10%である。  
平均受結額を比較すると、大手が中小を上回っており、その差は93,513円となっている。
- (5) 地区別にみると、受結額は高い方から北九州、筑後、福岡、筑豊の順となっている。  
大手では北九州、筑後、福岡、筑豊の順となっているが、中小では福岡、筑後、北九州、筑豊の順となっている。